

## III. 第4期基本計画策定に係る市民対話

### 1 背景

鎌倉市は、国からSDGs未来都市に選定されており、また、総合計画（基本計画）の改定等についての取組が自治体SDGsモデル事業として選定されています。第4期基本計画の策定にあたっては、バックキャスティング型の政策立案を目指すため、多様なステークホルダーの意見を聴き、共に鎌倉の未来を考える市民対話を実施しました。さらに、市民対話の参加市民との共創を推進できるシステムづくりを行なっています。

### 2 目的

市民をはじめ、団体、地元企業、NPO等の、想いのある多様なステークホルダーと行政職員の信頼関係を構築し、鎌倉市の未来を共創できる状態を築くことを目的としています。

### 3 市民対話のテーマ設定

鎌倉市の将来像を描くにあたり、「経済」「社会」「環境」に関する3つの問いと、それらを統合する全体テーマを設定しました。

また、これらの問いに関して共創できそうな市民・団体・地元企業・NPOなどを参加者候補として選定・公募し、市民対話に丁寧に招き入れることによって「多様な主体の参加」につなげました。

### 4 市民対話の進め方

前半を「鎌倉市の将来像を描く対話」、後半を「鎌倉市の将来像を実現するための対話」と位置づけてそれぞれ2回ずつ、合計で4回の市民対話を実施しました。

#### 第1回 地域の魅力を集める

- ・ 日時：平成30年（2018年）12月1日 午後1時30分から4時30分まで
- ・ 場所：福祉センター

#### 第2回 鎌倉市のありたい姿を描く

- ・ 日時：平成30年（2018年）12月22日 午前10時から午後1時まで
- ・ 場所：福祉センター

#### 第3回 共創のための問いを生み出す

- ・ 日時：平成31年（2019年）2月2日 午前9時15分から正午まで
- ・ 場所：鎌倉芸術館

#### 第4回 共創アイデアを探索する

- ・ 日時：平成31年（2019年）2月24日 午前9時30分から午後12時30分まで
- ・ 場所：鎌倉女子大学

### 鎌倉市の将来像を描く対話

**#1**

**地域の魅力を  
集める**

- 鎌倉・腰越・深沢・大船・玉縄の5つの地区の魅力9要素（モノ・コト・ヒト・トコロ・カコ・ミライ・ワザ・クウキ・シゴト）を集める。
- 魅力9要素を起点に、2030年、鎌倉市が取り上げられた新聞の一面を描く。

**#2**

**鎌倉市の  
ありたい姿を描く**

- 経済・社会・環境の3つの観点ごとに分かれチームを作り、それぞれの問いに応える「2030年の鎌倉市の未来の物語」を描く。

**第4期基本計画の策定  
に活用する範囲**

### 鎌倉市の将来像を実現するための対話

**#3**

**共創のための  
問いを生み出す**

- 鎌倉・腰越・深沢・大船・玉縄・エリア横断で分かれ、2030年のありたい姿の実現に向けて、共創活動を生み出すための問いを検討する。

**#4**

**共創アイデアを  
探索する**

- 参加者各自の関心に応じて第3回で生まれた問いに分かれ、それに応えるプロジェクトアイデアを企画する。

**共創関係の継続** →

市民対話で生まれた11のプロジェクトについては、  
鎌倉市HPで「2030年の鎌倉を とともに考え、ともに創る」で検索することができます。

## ■ 市民対話で生まれた 11 のプロジェクト

ただ意見を出すだけではなく、2030年の鎌倉をともに創るため、  
将来ありたい本市の姿をともに描き、  
その姿に向けて自分たちでできることを出し合い、  
ブラッシュアップを重ねた結果生まれた、11のプロジェクト。

**深沢ミュージック  
フェスティバル**

子どもから高齢者まで幅広い年代の市民が参加できる音楽フェスを毎年開催し、好きなことを通じて人とつながり、活動を発信できる場をつくる。

**宿泊型の防災訓練  
STAY & SAFE**

鎌倉を4地区に分け、それぞれの地区にある学校で、夏休みに小中高校生とその家族、町内会防災部が協力して宿泊型の避難訓練を行い、より多くの人に参加してもらおうと同時に地域のつながりをつくる。

**大船フェス**

大船在住の小中高大学生が中心になって文化祭のようなお祭りを毎年開催し、地域の中でのつながりを増やし、地域への愛着を育む。

**My避難所**

1人で行けるもん。  
近所の人も連れて行けるようになるもん！  
自宅を出発し、地域のチェックポイントをまわり、自分の避難所でゴールする防災イベントを年1回開催することで、市民が避難所まで1人で行けるようにするとともに、防災意識を高める。

**もったいない食堂**

食品ロスの課題解決をめざす食堂を空き家活用や居抜きでつくり、食や本の読み聞かせなどを通して世代間交流を行う。

**市民で作るバスルート**

3,000~4,000人の居住地域を一つの単位として、生活時間帯にショッピングセンターや幼稚園、介護施設などをまわり、市民の足となるようなバスルートをつくる。

**空き家でアーティスト・イン・レジデンス**

世界中のアーティストに鎌倉市内の空き家を活用してもらい、空き家から新しい鎌倉の文化を発信し、アートのあふれるまちにする。

**空き家めぐりツアー**

空き家オーナーと空き家を使いたい人をマッチングするツアーを定期開催し、鎌倉市内の空き家の利活用を促進する。

**目に見える鎌倉SDGs**

SDGsが達成された鎌倉の未来の姿を壁面に描くワークショップを開催。その壁面を市役所ロビーなど開かれた場所に展示し、訪れた市民がさらに加筆することで、多くの市民とまちのビジョンを共有する。

**市議会子ども参加DAY**

~7世代先の鎌倉のために~  
子どもたちが鎌倉市のことを考える「子ども審判」を立ち上げ、子ども審判の代表者が市議会に参加する。

**駄菓子屋 de つなごう**

フリースペースを提供したい人と使いたい人をスマホアプリでつなげ、市民の「やりたい」を身近な開かれた場所を実現すると同時に、地域の人のつながりをつくる。

全4回に渡って実施した市民対話や生まれたプロジェクトについて、タブロイド紙にまとめました！下記HPからご覧ください。（タブロイド紙の印刷物は市役所でお渡ししています。）

鎌倉市HP